

平成 13 年度土木学会関西支部年次学術講演会

期 日：平成 13 年 6 月 2 日（土）

会 場：大阪市立大学 杉本キャンパス 2 号館・3 号館

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

目 次

<プログラム>

1. 一般講演

9:00～17:00 (発表時間 1 題につき 15 分以内)

部門 114 題, 部門 101 題, 部門 69 題, 部門 91 題, 部門 47 題, 部門 8 題, 部門 17 題 合計 447 題

(注: 著者名欄は、講演者を最初に記載しております。)

水理学, 水文学, 河川工学, 海岸工学, 港湾工学, 衛生工学など

第 - 1 会場

水災害(1) : 井上 和也 (京都大学)・高橋 智幸 (京都大学)

| | | | | |
|------------|-------|-------------------------------|-----------|-----------|
| 9:00～10:15 | (-1) | 1999年ベネズエラ災害における土砂流出のシミュレーション | 立 命 館 大 学 | 今 田 勝 昭 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 江 頭 進 治 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 伊 藤 隆 郭 |
| | (-2) | 山地流域における崩壊密度の予測 | 立 命 館 大 学 | 藤 井 陽 子 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 江 頭 進 治 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 伊 藤 隆 郭 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 上 妻 由 拓 |
| | (-3) | 浸透効果を考慮した河川氾濫流モデルの構築とその検証 | 大 阪 大 学 | 外 木 場 康 将 |
| | | | 大 阪 大 学 | 川 崎 浩 司 |
| | | | 大 阪 大 学 | 中 辻 啓 二 |
| | (-4) | 都市化の影響による洪水氾濫特性の変化に関する一考察 | 関 西 大 学 | 寺 田 光 宏 |
| | | | 京 都 大 学 | 河 田 恵 昭 |
| | | | 関 西 大 学 | 上 田 征 香 |
| | | | 関 西 大 学 | 井 上 雅 夫 |

| | | | | |
|-------|-------------------------|---------|-------------|-----------|
| (-5) | 低平地河川流域における内水氾濫解析モデルの開発 | 京 都 大 学 | 相 良 亮 | 輔 司 也 一 正 |
| | | 京 都 大 学 | 川 池 健 和 圭 広 | |
| | | 京 都 大 学 | 井 上 田 井 | |
| | | 京 都 大 学 | 戸 坂 | |

10:15 ~ 10:30 休 憩

水災害(2) : 井上 和也(京都大学)・高橋 智幸(京都大学)

| | | | | |
|---------------|--------|------------------------------------|---------------|-----------|
| 10:30 ~ 12:15 | (-6) | 力学的指標とドップラーレーダーを用いた東海豪雨の解析 | 京 都 大 学 | 和 田 喜 宏 |
| | | | 京 都 大 学 | 中 北 英 一 |
| | | | 建 設 技 術 研 究 所 | 矢 神 卓 也 |
| | | | 京 都 大 学 | 池 淵 周 一 |
| | (-7) | 土砂災害発生と降雨量の関係に関する一考察 | 銭 高 組 | 大 井 戸 志 朗 |
| | | | 京 都 大 学 | 牛 山 素 行 |
| | | | 京 都 大 学 | 寶 馨 |
| | (-8) | 東海豪雨時の野並地区における浸水とその対策に関する考察 | 京 都 大 学 | 太 田 裕 司 |
| | | | 京 都 大 学 | 立 川 康 人 |
| | | | 京 都 大 学 | 寶 馨 |
| | (-9) | 東海豪雨災害における住民の災害対応に関する研究 | 京 都 大 学 | 木 村 よ り 子 |
| | | | 京 都 大 学 | 河 田 恵 昭 |
| | (-10) | 水防訓練記録のタスク分析に基づく災害対応行動シミュレーション | 京 都 大 学 | 宮 崎 祐 丞 |
| | | | 京 都 大 学 | 堀 智 晴 |
| | | | 京 都 大 学 | 椎 葉 充 晴 |
| | (-11) | 1999年6月集中豪雨災害における地下施設の被害状況と復旧日数の関係 | 京 都 大 学 | 後 藤 隆 一 |
| | | | 京 都 大 学 | 河 田 恵 昭 |
| | (-12) | 水害避難ミクロモデルの再構築と地下空間への拡張 | 京 都 大 学 | 認 谷 剛 志 |
| | | | 京 都 大 学 | 堀 智 晴 |
| | | | 京 都 大 学 | 椎 葉 充 晴 |

流出 : 宝 馨(京都大学)・堀 智晴(京都大学)

| | | | | |
|---------------|--------|-------------------------------------|---------|-----------|
| 13:15 ~ 15:15 | (-13) | 都市小流域への SWMM の適用における流域分割について | 神 戸 大 学 | 高 口 将 徹 |
| | | | 神 戸 大 学 | 神 田 吉 和 夫 |
| | | | 神 戸 大 学 | 神 前 田 康 宏 |
| | (-14) | kinematic wave 法による確率洪水予測のアルゴリズムの開発 | 京 都 大 学 | 佐 藤 芳 洋 |
| | | | 京 都 大 学 | 椎 葉 充 晴 |
| | (-15) | 圃場容水量を考慮した流量流積関係式の集中化 | 京 都 大 学 | 村 田 康 明 |
| | | | 京 都 大 学 | 市 川 温 晴 |
| | | | 京 都 大 学 | 椎 葉 充 晴 |

| | | | | |
|--------|-----------------------------------|---------|-------|---|
| (-16) | 流出計算で考慮すべき降水空間分布スケールに関する研究 | 京 都 大 学 | 市 川 | 温 |
| | | 京 都 大 学 | 長 谷 川 | 一 |
| | | 京 都 大 学 | 椎 葉 | 晴 |
| (-17) | 半分布型流出モデルによる河川流況評価に関する研究 | 京 都 大 学 | 金 澤 | 樹 |
| | | 京 都 大 学 | 椎 葉 | 晴 |
| | | 京 都 大 学 | 堀 | 晴 |
| | | 京 都 大 学 | 市 川 | 温 |
| (-18) | 黄河流域における分布型水量，濁質シミュレーションモデルに関する研究 | 京 都 大 学 | 田 村 | 慶 |
| | | 京 都 大 学 | 小 尻 | 治 |
| | | 京 都 大 学 | 友 杉 | 雄 |
| | | 京 都 大 学 | 小 笠 原 | 行 |
| (-19) | 中国淮河流域を対象としたマクログリッド型流出モデルの検証 | 京 都 大 学 | 水 主 | 之 |
| | | 京 都 大 学 | 立 川 | 人 |
| | | 京 都 大 学 | 田 中 | 治 |
| | | 京 都 大 学 | 宝 | 馨 |
| (-20) | インドネシア・プランタス川上流域における分布型土砂流出モデルの構築 | 京 都 大 学 | 佐 山 | 敬 |
| | | 京 都 大 学 | 實 立 | 馨 |
| | | 京 都 大 学 | 中 山 | 人 |
| | | 京 都 大 学 | 中 山 | 地 |

15:15 ~ 15:30 休 憩

水・物質循環：宝 馨(京都大学)・堀 智晴(京都大学)

| | | | | | |
|---------------|--------|--------------------------------------|-----------|-----|-----|
| 15:30 ~ 17:00 | (-21) | 共用データベースを利用したアジア地域での蒸発散分布特性の把握に関する研究 | 京 都 大 学 | 中 塚 | 隼 平 |
| | | | 京 都 大 学 | 小 尻 | 利 治 |
| | | | 千 葉 大 学 | 近 藤 | 昭 彦 |
| | (-22) | 水素・酸素同位体比を用いた池水の蒸発過程 | 和 歌 山 大 学 | 川 井 | 儀 賠 |
| | | | 和 歌 山 大 学 | 石 塚 | 正 秀 |
| | | | 和 歌 山 大 学 | 平 田 | 健 正 |
| | | | 和 歌 山 大 学 | 井 伊 | 博 行 |
| | (-23) | 3次元構造を考慮した降雨分布の地形依存特性の解明 | 京 都 大 学 | 諸 橋 | 真 琴 |
| | | | 京 都 大 学 | 鈴 木 | 善 晴 |
| | | | 京 都 大 学 | 中 北 | 英 一 |
| | | | 京 都 大 学 | 池 淵 | 周 一 |
| | (-24) | 詳細な雲物理過程を含む酸性雨・酸性雪予測モデルの開発研究 | 大 阪 市 | 松 井 | 光 弘 |
| | | | 山 梨 大 学 | 大 石 | 哲 一 |
| | | | 京 都 大 学 | 池 淵 | 周 一 |
| | (-25) | 水田・湖面における水・熱収支の季節変化に関する研究 | 京 都 大 学 | 石 岡 | 賢 治 |
| | | | 京 都 大 学 | 池 淵 | 周 一 |
| | | | 京 都 大 学 | 田 中 | 賢 治 |
| | | | 京 都 大 学 | 中 北 | 英 一 |

(-26) ウェイングライシメータにおける植物の成長と水収支に関する研究 京 都 大 学 東 博 紀
京 都 大 学 岡 太 郎

第 - 2 会場

開水路流 : 中山 昭彦 (神戸大学)・神田 佳一 (明石工業高等専門学校)

9:00~10:45 (-27) 非定常開水路流れにおける底面せん断 京 都 大 学 坂 根 由 季 子
応力と水深の位相差に与える粗面の影 京 都 大 学 禰 津 家 久
響と新しい非定常パラメータの提案 京 都 大 学 牛 島 省
(-28) 開水路の断面変化を伴う高速流に關す 京 都 大 学 八 木 哲 生
る基礎的研究 京 都 大 学 角 哲 也
(-29) わんどの開口部形状が組織渦に及ぼす 京 都 大 学 乙 志 和 孝
影響に関する研究 京 都 大 学 禰 津 家 久
京 都 大 学 鬼 束 幸 樹
京 都 大 学 高 橋 俊 介
(-30) 開水路凹部における流れの多重解像度 神 戸 大 学 山 中 大 輔
解析 神 戸 大 学 神 田 徹
神 戸 大 学 宮 本 仁 志
(-31) 浅い開水路凹部における流れの解析 神 戸 大 学 三 浦 光 博
神 戸 大 学 神 田 徹
神 戸 大 学 宮 本 仁 志
神 戸 大 学 兵 頭 伸 幸
(-32) 開水路非対称トレンチ部における振動 神 戸 大 学 丸 山 達 弥
跳水の特性 神 戸 大 学 藤 田 一 郎
神 戸 大 学 中 野 正 悟
(-33) 開水路凹部流れにおける水面・流速の同 神 戸 大 学 大 江 和 正
時画像計測 神 戸 大 学 神 田 徹
神 戸 大 学 宮 本 仁 志

10:45 ~ 10:55 休 憩

河道・水制 : 中山 昭彦 (神戸大学)・神田 佳一 (明石工業高等専門学校)

10:55 ~ 12:25 (-34) 砂州の変形と水みちの形成に及ぼす給 舞鶴工業高等専門学校 三 輪 浩
砂の効果 長岡技術科学大学 小 島 輝 久
舞鶴工業高等専門学校 横 川 純
(-35) 緩湾曲部における砂州の形状および水 立 命 館 大 学 松 田 幸 祐
制による制御に関する模型実験 立 命 館 大 学 中 川 博 次
立 命 館 大 学 江 頭 進 治
立 命 館 大 学 片 山 直 哉
(-36) 低水路・砂州・植生からなる河道の洪水 立 命 館 大 学 森 田 雅 夫
時における変動機構に関する研究 立 命 館 大 学 江 頭 進 治
徳 島 大 学 竹 林 洋 史
立 命 館 大 学 永 田 徹
立 命 館 大 学 中 村 幸 世

| | | | |
|--------|-----------------------------|---------------------------------|------------------------------|
| (-37) | 自己形成流路の形状特性に及ぼす川幅水深比の影響 | 立命館大学 立命館大学 徳島大学 立命館大学 | 松葉信征 江頭進治 竹林洋史 岩城大祐 |
| (-38) | 都市河川に設置された階段工における水理機能に関する研究 | 神戸大学 神戸大学 神戸大学 | 長浜弘典 藤田一郎 小澤純 |
| (-39) | 捨石堰の越流特性 | 神戸大学 神戸大学 神戸大学 | 羽根田正則 奥澤康治 古澤孝明 |

河床変動・排砂：西田 修三(大阪大学)・三輪 浩(舞鶴工業高等専門学校)

| | | | | |
|---------------|--------|-------------------------------|--|-------------------------------|
| 13:20 ~ 14:50 | (-40) | 混合砂河床における砂州平衡形状の不安定性に関する研究 | 立命館大学 立命館大学 徳島大学 立命館大学 | 桑島進信 江頭進治 竹林洋史 長谷川祐治 |
| | (-41) | 弯曲河道の河床変動に及ぼす掃流力の影響 | 立命館大学 立命館大学 立命館大学 立命館大学 | 長阪哲也 中川博次 江頭進治 渡邊有子 |
| | (-42) | 瀬と淵における河床縦断形状および粒度分布の変動特性 | 立命館大学 立命館大学 徳島大学 立命館大学 立命館大学 | 中村幸世 江頭進治 竹林洋史 永田徹夫 |
| | (-43) | 移動床管路流の堆砂高急変部のエネルギー損失特性 | 神戸大学 神戸大学 神戸大学 | 宵田千裕 中山昭彦 大本雄二 |
| | (-44) | 貯水池堆砂の排砂システムに関する実験的研究 | 京都大学 京都大学 京都大学 京都大学 | 沢橋好文 高川一文 里深剛大 |
| | (-45) | ダム貯水池におけるフラッシング排砂の簡易計算法に関する研究 | 京都大学 京都大学 | 前田圭一 角哲也 |

14:50 ~ 15:00 休 憩

湖沼・沿岸域水理：西田 修三(大阪大学)・三輪 浩(舞鶴工業高等専門学校)

| | | | | |
|---------------|--------|-----------------------------|----------------------|----------------------|
| 15:00 ~ 17:00 | (-46) | 閉鎖性水域における水流の乱れ構造と気体輸送特性について | 京都大学 京都大学 京都大学 | 井上理恵 禰津家久 池田大輔 |
|---------------|--------|-----------------------------|----------------------|----------------------|

| | | | |
|--------|-----------------------------------|-------------|-----------|
| (-47) | 閉鎖水域における風波発生下の水理特性に関する研究 | 京 都 大 学 | 池 田 大 輔 |
| | | 京 都 大 学 | 大 家 久 恵 |
| | | 京 都 大 学 | 井 上 理 圭 |
| (-48) | PIV法による閉鎖水域場の風波界面乱流構造に関する研究 | 京 都 大 学 | 吉 田 圭 家 |
| | | 京 都 大 学 | 禰 津 家 久 省 |
| (-49) | 気象変化が及ぼす湖の水質変動 | 大 阪 大 学 | 佐 野 俊 幸 |
| | | 大 阪 大 学 | 川 井 晴 至 |
| | | 大 阪 大 学 | 西 田 修 三 |
| (-50) | 貯水池底層の挙動と逆転水温成層との相関 | 神 戸 大 学 | 道 奥 康 徹 |
| | | 神 戸 大 学 | 神 田 静 敏 |
| | | 神 戸 大 学 | 松 尾 昌 和 |
| (-51) | マイクロバブルを用いた深層曝気による貯水池の水質浄化 | 神 戸 大 学 | 松 尾 昌 和 |
| | | 神 戸 大 学 | 道 奥 康 治 |
| | | 神 戸 大 学 | 神 田 徹 文 |
| | | 徳山工業高等専門学校 | 大 成 博 克 |
| | | 中電技術コンサルタント | 大 松 尾 静 美 |
| | | 神 戸 大 学 | 白 澤 静 敏 |
| (-52) | 陸奥湾湾口部の流動構造に及ぼす影響因子 | 大 阪 大 学 | 鈴 木 誠 二 |
| | | 大 阪 大 学 | 山 中 亮 一 |
| | | 大 阪 大 学 | 小 山 健 一 |
| | | 大 阪 大 学 | 西 田 修 三 |
| | | 大 阪 大 学 | 中 辻 啓 義 二 |
| (-53) | 沿岸水質のモニタリングにおける ADCP データの活用に関する研究 | 京 都 大 学 | 田 邊 義 隆 司 |
| | | 京 都 大 学 | 高 山 知 洋 |
| | | 京 都 大 学 | 吉 岡 |

第 - 3 会場

混相流 : 江藤 剛治 (近畿大学)・牛島 省 (京都大学)

| | | | | | |
|------------|---------------------|-----------------------------|-----------|-----------|---------|
| 9:00~10:15 | (-54) | 路床に設置された粒子の初動と乱流構造との関連性 | 市 川 工 務 店 | 波 多 野 | 大 輔 |
| | | | 立 命 館 大 学 | W e l l s | J o h n |
| | | | 新 潟 県 | 高 島 | 史 揚 |
| | (-55) | 水中における粒子 - 壁面間衝突に及ぼす表面粗さの影響 | 立 命 館 大 学 | 城 | 知 宏 |
| | | | 立 命 館 大 学 | W e l l s | J o h n |
| | (-56) | 定常状態の土石流に及ぼす固体粒子の比重の影響 | 立 命 館 大 学 | 内 海 | 敦 郎 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 江 頭 | 進 治 |
| | | | 立 命 館 大 学 | 伊 藤 | 隆 郭 |
| (-57) | 開水路流れの流砂機構に関する実験的研究 | 京 都 大 学 | 西 村 宗 倫 | | |
| | | 京 都 大 学 | 禰 津 家 久 | | |
| | | 京 都 大 学 | 鬼 束 幸 樹 | | |
| | | 京 都 大 学 | 東 良 慶 | | |

| | | | |
|--------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| (-58) | 大粒径粒子を含む固液混相衝突噴流の乱流計測 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 長 谷 直 子 牛 島 津 家 省 久 禰 |
|--------|-----------------------|-------------------------------|-----------------------------|

10:15 ~ 10:30 休 憩

計測法：江藤 剛治(近畿大学)・牛島 省(京都大学)

| | | | | |
|---------------|--------|---|---------------------------------------|-------------------------------|
| 10:30 ~ 12:15 | (-59) | ボイドプローブを用いた碎波連行気泡特性の測定 | 大 阪 市 立 大 学 大 阪 市 立 大 学 京 都 大 学 | 角 野 昇 八 山 岸 達 也 日 引 俊 治 |
| | (-60) | 高速ビデオカメラの開発と水工学への適用例 - 気泡連行と水滴飛散の連鎖過程の可視化 - | 近 畿 大 学 近 畿 大 学 近 畿 大 学 | 江 藤 剛 治 竹 原 幸 生 高 野 保 英 |
| | (-61) | 屈折率整合技術の開発および浮上球体周りの流れ場計測への適用 | 近 畿 大 学 近 畿 大 学 近 畿 大 学 | 高 野 保 英 田 中 健 司 江 藤 剛 治 |
| | (-62) | レーザーで可視化された気液境界面での輝度変化について | 明石工業高等専門学校 明石工業高等専門学校 | 藤 津 寛 之 檀 和 秀 |
| | (-63) | 水面形状の画像計測法における精度の検討 | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 下 山 顕 治 神 田 徹 志 宮 本 仁 正 |
| | (-64) | 四流束モデルによる浮遊物質濃度の画像解析 | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 岩 井 康 隆 神 田 徹 志 宮 本 仁 志 |
| | (-65) | 時空間濃淡勾配を利用した実用的な河川表面流の計測法 | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 山 下 健 作 椿 涼 太 郎 藤 田 一 |

数値解析：角野 昇八(大阪市立大学)・川崎 浩司(大阪大学)

| | | | | |
|---------------|--------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 13:30 ~ 15:15 | (-66) | 応力方程式モデルを用いた非定常開水路乱流の数値計算 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 山 上 路 生 禰 津 家 久 牛 島 省 |
| | (-67) | 実河川流の LES | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 吉 本 和 弘 中 山 昭 彦 岸 修 士 郎 |
| | (-68) | 直交格子を用いた任意境界形状を有する流れ場の数値解法の検討 | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 中 村 卓 史 不 破 洋 史 中 山 昭 彦 |
| | (-69) | 境界近傍の流れ特性を利用した非圧縮性流体数値解法の効率化 | 神 戸 大 学 神 戸 大 学 | 横 嶋 哲 彦 中 山 昭 彦 |

| | | | |
|--------|-------------------------------------|--|--|
| (-70) | 気液混相流動場の数値シミュレーションに関する一考察 | 大 阪 大 学 大 阪 大 学 大 阪 大 学 | 川 崎 浩 司 大 谷 知 樹 中 辻 啓 二 |
| (-71) | 乱流場における Basset 項を考慮した固体粒子運動の数値解析 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 奥 山 洋 平 牛 島 省 久 禰 津 家 久 |
| (-72) | 数値計算による粒子群の三次元沈降挙動に及ぼす投入条件の影響に関する検討 | 大 阪 市 立 大 学 大 阪 市 立 大 学 大 阪 市 立 大 学 大 阪 市 立 大 学 | 重 松 孝 昌 錦 織 陽 一 廣 瀬 真 由 紀 小 田 一 紀 |

15:15 ~ 15:30 休 憩

河川環境 : 角野 昇八 (大阪市立大学)・川崎 浩司 (大阪大学)

| | | | | |
|---------------|--------|------------------------------------|--|--|
| 15:30 ~ 16:45 | (-73) | 河川事業に関わる土木の文化財登録 - 木津川流れ橋と宇治川塔の島 - | ア ス コ 安 東 尚 美 | |
| | (-74) | 砂防ダムからの人為的排砂が岩魚の生息環境に与える影響 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 木 下 篤 彦 水 山 高 久 藤 田 正 治 澤 田 豊 明 |
| | (-75) | 近代の諸文献や俳句に見る人と河川とのかかわり方に関する一考察 | 大 阪 市 立 大 学 大 阪 市 立 大 学 | 関 本 武 史 角 野 昇 八 |
| | (-76) | 豪雨時の河川親水域の危険度評価に関する研究 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 徳 永 智 宏 川 池 健 司 井 上 和 也 戸 田 圭 一 |
| | (-77) | 人口・食糧生産を考慮した水資源ダイナミクスモデル | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 藤 井 寿 史 永 廣 一 記 堀 智 晴 椎 葉 充 晴 |

第 - 4 会場

波浪 : 出口 一郎 (大阪大学)・沖 和哉 (京都大学)

| | | | | |
|--------------|--------|-------------------------------|--|--|
| 9:00 ~ 10:30 | (-78) | Boussinesq 方程式による波の分裂・再生現象の検討 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 芦 谷 淳 志 沖 和 哉 酒 井 哲 郎 |
| | (-79) | 碎波帯における戻り流れの鉛直分布に及ぼす渦粘性係数の影響 | 大 阪 府 立 工 業 高 等 専 門 学 校 大 阪 府 立 工 業 高 等 専 門 学 校 大 阪 府 立 工 業 高 等 専 門 学 校 大 阪 府 立 工 業 高 等 専 門 学 校 | 本 田 尚 正 平 山 秀 夫 日 野 武 司 杉 永 孝 太 |
| | (-80) | 流れを考慮した位相平均波浪変形モデル | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 雨 森 洋 司 間 瀬 肇 高 山 知 司 |

| | | | |
|--------|--|--|---|
| (-81) | 非定常波浪の造波法 | 京 都 大 学 | 帯 包 浩 司 |
| (-82) | MPS 法による土砂流誘発型津波の造波条件に関する検討 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 高 山 知 司 織 田 晃 治 後 藤 仁 志 酒 井 哲 郎 林 稔 樹 |
| (-83) | 台風9918号による広島湾内発生波浪の推算 - WAM と SWAN の相互比較 - | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 平 尾 博 樹 間 瀬 肇 國 富 嗣 高 山 知 司 |

10:30 ~ 10:45 休 憩

漂砂 : 出口 一郎 (大阪大学)・沖 和哉 (京都大学)

| | | | | |
|---------------|--------|----------------------------------|--|--|
| 10:45 ~ 12:15 | (-84) | 波浪・潮流による底泥の巻き上がり特性に関する研究 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 大 和 剛 高 山 知 司 吉 岡 洋 |
| | (-85) | 波動伝播に伴う海底床液状化が漂砂量に及ぼす影響 | 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 京 都 大 学 | 井 元 康 文 酒 井 哲 郎 後 藤 仁 志 原 田 英 治 |
| | (-86) | 沿岸砂州の侵食制御機構と沖合養浜の可能性に関する実験的研究 | 大 阪 大 学 大 阪 大 学 大 阪 大 学 | 浦 南 満 西 一 成 出 口 一 郎 |
| | (-87) | 海浜変形の数値モデルの適用性について | 京 都 大 学 京 都 大 学 | 木 村 彰 宏 河 田 恵 昭 |
| | (-88) | 細粗2粒径混合砂を用いた底質の篩い分けと漂砂量に関する基礎的研究 | 大 阪 大 学 大 阪 大 学 大 阪 大 学 | 吉 田 英 治 若 松 尚 子 出 口 一 郎 |
| | (-89) | 沿岸砂州を有する海浜断面形状と鳴き砂の発音特性の関係 | 神戸市立工業高等専門学校 神戸市立工業高等専門学校 神戸市立工業高等専門学校 神戸市立工業高等専門学校 | 古 河 俊 英 辻 本 剛 三 日 下 部 重 幸 原 田 紘 一 郎 |

海岸環境 : 酒井 哲郎 (京都大学)・荒木 進歩 (大阪大学)

| | | | | |
|---------------|--------|--------------------------|---|---|
| 13:30 ~ 15:15 | (-90) | 人工磯における付着動物の垂直分布に関する現地調査 | 関 西 大 学 日本建設コンサルタント 関 西 大 学 関 西 大 学 関 西 大 学 | 柴 橋 朋 希 端 谷 研 治 島 田 広 昭 井 上 雅 夫 谷 口 正 典 |
|---------------|--------|--------------------------|---|---|

| | | | |
|--------|----------------------------|---|--------------------------------------|
| (-91) | HEP を用いた人工磯における付着動物の生息環境評価 | 関西大学 関西大学 日本建設コンサルタント 関西大学 関西大学 | 吉安勇介 橋中秀典 端谷研治 島田広昭 井上雅夫 |
| (-92) | 淡輪・箱作海岸における人工磯の利用評価 | 関西大学 関西大学 関西大学 関西大学 | 橋中秀典 吉安勇介 島田広昭 井上雅夫 |
| (-93) | 藻類の生活史から見た人工磯浜の出現生物種 | 京都大学 京都大学 京都大学 | 仁木将人 酒井哲郎 佐橋将昭 |
| (-94) | 海岸利用者による二色の浜海岸環境整備事業の事後評価 | 関西大学 関西大学 関西大学 | 島田広昭 井上雅夫 草加和也 |
| (-95) | 我が国における海岸工学と社会環境に関する一考察 | 関西大学 関西大学 関西大学 関西大学 | 永橋俊二 井上雅夫 寺田光宏 西野洋樹 |
| (-96) | 大阪湾沿岸にある海水浴場のバリアフリー調査 | 関西大学 関西大学 | 井上雅夫 紺屋満 |

15:15 ~ 15:30 休 憩

構造物・越波 : 酒井 哲郎(京都大学)・荒木 進歩(大阪大学)

| | | | | |
|---------------|---------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 15:30 ~ 16:45 | (-97) | ネットをスカートに用いた浮体構造物のふかれ変形 | 太陽工業 大阪大学 大阪大学 大阪大学 | 安井章雄 宮本嵩広 幾田正一郎 出口一郎 |
| | (-98) | MPS法による浮氷盤の潜り込み過程の数値シミュレーション | 京都大学 京都大学 京都大学 | 安藤藤仁志 後藤井哲郎 林稔 |
| | (-99) | 緩傾斜護岸における越波流量算定図の提案 | 関西大学 関西大学 関西大学 関西大学 | 玉田裕崇 井上雅夫 井上裕行 桐畑健作 |
| | (-100) | 緩傾斜護岸における越波量の時間的変動特性 | 関西大学 関西大学 関西大学 関西大学 | 井上裕規 井上雅夫 玉田崇雄 手塚崇雄 |

(-101) オイラー・ラグランジュ法による閉鎖性 京 都 大 学 村 山 英 俊
領域の海水交換過程に関する研究 京 都 大 学 高 山 知 司
京 都 大 学 吉 岡 洋